

平成28年千葉市教育委員会会議
第2回臨時会会議録

千葉市教育委員会

平成28年千葉市教育委員会会議第2回臨時会会議録

日時 平成28年8月1日(月)

午後2時00分開会

午後3時00分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 中野 義澄
委 員 内山 英夫
委 員 和田 麻理
委 員 小西 朱見
教 育 長 志村 修

出席職員 教 育 次 長 森 雅彦 指 導 課 長 福本 順
教 育 総 務 部 長 矢澤 正浩 総 務 課 総 括 主 幹 山田 利雄
学 校 教 育 部 長 伊藤 裕志 指 導 課 統 括 管 理 主 事 中嶋のり子
千 葉 高 等 学 校 長 川崎 浩祐 指 導 課 主 任 指 導 主 事 三橋 通応
稲 毛 高 等 学 校 長 植草 茂生 指 導 課 主 任 指 導 主 事 木村 辰治
総 務 課 長 國方 俊治 指 導 課 指 導 主 事 峰 成治
学 事 課 長 大井 力 指 導 課 指 導 主 事 小谷 泰也

書 記 総 務 課 長 補 佐 三田日出美 総 務 課 主 事 坪山 耕太
総 務 課 主 任 主 事 佐久間暁子 総 務 課 主 事 鈴木 理沙

- 1 開会
中野委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立
過半数委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
中野委員長より小西委員を指名
- 4 会期の決定
平成28年8月1日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定

6 議事の概要

(1) 議決事項

議案第26号 平成29年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について

千葉高等学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第27号 平成29年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について

稲毛高等学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第28号 平成29年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について

教育次長及び指導課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(2) 発言の要旨

議案第26号 平成29年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について

中野委員長 千葉高等学校校長、説明をお願いいたします。

本の数も多いので、去年と違った点などを中心に、わかりやすく言っていただければと思います。

川崎千葉高等学校長 千葉高校の川崎でございます。よろしくをお願いいたします。

まず、教科書選定に当たりましては本校、稲毛高校も一緒でございますが、千葉市立高校でございますので、千葉市の採択方針に基づきまして、本校の教育目標を具現化できる教科書であるこ

と、それから２点目といたしまして、本校の教育課程の特色や生徒の実態など、学校の実情に適した教科書であること、以上の２点を選定に当たっての基本的な考えとしております。

それらを踏まえまして、校内におきまして、教科書選定委員会を組織し、選定方針、選定計画を策定するとともに、使用教科書ごとに選定の理由を明確にすることで、透明性、信頼性を確保して、慎重に選定を進めてまいりました。

最初に本校における選定方針について、ご説明を申し上げます。

１として、本校生徒の実態と今後の課題について、記載をしております。本校では、ほぼ全員が４年制大学への進学希望であり、特に国公立大学の進学希望者を多く抱えております。そこで、第１志望の現役合格の実現に向けた学力の向上は、本校の大きな課題として捉えております。また、学校行事や部活動には積極的に取り組み、真面目な生活態度であるものの、一方で自学自習習慣の確立が不十分な面もまだございます。

２としてSSH研究指定校としての発展を目指すため、数学・理科・情報等の専門性の高い授業、国際性を育むコミュニケーション能力の向上も求められているということでございます。

これらのことから、本校に求められる教科用図書の特徴を挙げさせていただきました。特色としては、生徒の進路志望の実現に対応したレベルであること、発展的な内容まで広く扱い、生徒の興味関心を高める表記があることなどを備えていることが必要であると考えております。その上で具体的な選定基準として、基礎基本の着実な定着が図れるよう、わかりやすい構成になっていること、図表や資料等、よい教材が挿入されており、適切な表現を用いられていること、表記や記号等が統一され、適切な設問などや研究問題が配置されていること、また、科目の継続性のあるものは、原則、同一教科書会社の出版物を選定すること、加えまして、理数科の教科、理数については、学習の幅を広げるための工夫や重要な科学用語の英語表記があること、高校と大学との連携を意識した内容が取り入れられていること、実験操作が図解されており、探究活動について工夫した扱いになっていること、以上を選定理由とし、教科書を選定しているところでございます。

次に、選定計画でございます。本校では、４月５日に管理職、教務主任、教科主任など、合計１３人からなる校内教科書選定委員会を組織するとともに、職員に教科書の選定に当たっては、生

徒の実態や学校の実情を踏まえ、教科書の内容、表記など細部にわたって比較検討し、慎重に選定業務を行うよう指示をいたしました。

5月18日、第1回校内教科書選定委員会において、選定方針、選定計画、選定の手順等について共通理解を図るとともに、6月下旬までに各教科における検討がなされ、7月5日の第2回委員会において、使用教科書の選定理由説明が各教科からあり、了承し、学校として評価したものでございます。そして、その結果につきまして、7月19日に、千葉市教育委員会に報告しました。

以上がこれまでの経緯でございます。

それでは、次に各教科についてご説明していきませんが、先ほど委員長からございましたように、来年度変更になる教科書を中心にご説明させていただきます。

まず、国語でございます。本校では今年度から国語総合において、第一学習社の教科書を選択しております。年次進行に伴い、2年生で学習する教科書でございますが、内容に加えまして継続性も重視して、第一学習社を選定したいと考えております。

次に、地歴でございますが、昨年度から変更はございません。生徒の自学自習や大学入試にも活用できることなどを評価し、これらの教科書を選定しております。

次に、数学でございます。数学Ⅲが年次進行に伴い変更となりました。これで数学については全て、数研出版の教科書を選定することになりました。他社に比べて応用が充実していることなど、難易度が高く、本校生徒のレベルに合っているということから選定をしております。

次に、理科でございます。教科書の改訂がありましたので、この機会に改めて各社を比較し、検討したところでございます。

その結果、3点で変更がございます。まず、物理基礎でございますが、生徒が学習する上で展望を描きやすい工夫がなされているというのを評価し、実教出版のものを選定いたしました。

そして、生物基礎でございますが、工夫された図や写真が多く掲載されていること、各項目の学習内容が詳細に記載されている点や、大学入試対策に加え、野外活動に関連した記述などを評価し、数研出版を選定いたしております。

そして、地学基礎は、個々の内容がわかりやすく記載されている点や、発展的な学習に力を入れている点を評価し、啓林館を選

定しております。

続いて、保健体育から書道までですが、音楽と美術で変更しております。いずれも本校生徒の学習実態を考慮した上での選定でございます。

次に、外国語、英語でございます。コミュニケーション英語Ⅰにつきましては、来年度、三省堂を選定しました。選定理由としては、発展的な読み物が充実していること、指示文が英語で、オールイングリッシュの授業にも適していることなどを評価し、選定いたしました。

なお、本校ではコミュニケーション英語については、ここ数年、毎年教科書を変えています。その理由としては、教科書の原文をそのまま定期考査に引用することに加え、教科書を発行している会社が多くあり、同じようなレベルの教科書が複数出版されていることから使用教科書を変更しています。そして継続性の観点から、同じ出版社の教科書を2年生、3年生でも使用することとしておりますので、コミュニケーション英語Ⅱ、それからコミュニケーション英語Ⅲも、今年変わることとなります。

次に、情報でございますが、情報につきましても教科書の改訂がありましたので、検討いたしました。その結果、現代の情報化社会に関する最新の用語が多く載っていること、加えて数学で使用している教科書と同じ会社であることから、数学と連動して内容が深められる点などを評価して、数研出版に変更しております。

普通教育に関する説明は以上でございます。

続いて、理数教育に関する教科書ですが、理数数学は変更がございません。理数生物及び理数地学の2点に変更となっております。

理数生物は生徒の学習実態と合致している点や、補足事項も充実している点などを評価し、数研出版を選定いたしました。

理数地学は個々の内容がわかりやすく記載されている点や、発展的な学習に力を入れている点などを評価し、啓林館を選定しています。

その他については変更はございません。

以上、千葉高校における平成29年度使用の教科書図書についてご説明を申し上げます。よろしくお願いいたします。

中野委員長 それでは審議に移りますが、質問等含めまして何かございますでしょうか。

明石委員どうぞ。

明石委員 2点ありまして、1点、例えば普通科で数学Iとありますが、この数研出版の数学I、教科書は理数科でも同じなのか、どこか違うということなのか教えてください。

川崎千葉高等学校長 普通科の数学I、数研出版のものと、理数科、理数数学I、数研出版のものは同じ教科書になります。

明石委員 理数科のクラスはどういう趣旨で教科書を変えているか、又は変えていないか、その辺を教えてください。一番最初の説明では、理数科の理数については、学習の幅を広げるための工夫や重要な科学用語の英語表記等があるということでした。そういう理数特有のことを大事にした教科書で違いがあるのか。数学では違いがないんだけど、物理とか生物では違いがあるのか。そういうのを説明してくれると理解しやすい。

川崎千葉高等学校長 科目にもよりますが、基礎的なものについては、同じ発行者を使用しています。SSHの特色として、プログラム実施に必要な専門的な内容等につきましては、例えば課題研究という授業の中で、教科書プラス自分たちでネット上で調べたり、そういった活動をしながら学習の理解を深めるようなことをごさいます。

発展的な学習について、特に理科においては学校で工夫をしながら、授業を展開しているということをごさいます。

明石委員 私の考えでは、SSHに入っていく40名のクラスというのは、教科書はなくてもいいんじゃないかと素人考えですが感じます。だから、まだまだ基礎基本が大事なので、教科書を使ったほうがいいのか、例の市毛君でしたか、ああいう人は、もしかしたら教科書はないほうがいいんじゃないとか、若しくは1年間は基礎基本だから教科書使うんだけど、2年、3年はなるべく教科書を離れた自主教材をやるとか、要するにSSHが何を狙うかという問題で、そういうことを説明してくれると教科書の選定理由がわかると思って質問したんです。

川崎千葉高等学校長 課題研究という授業の中では、特に特定の教科書は使っておりません。市毛君の場合はステップングモーターという、その研究をするに当たって、物理的な見地だとか、その他の知識を総動員しながらやりますので、特に決まった教科書というのは使わないで、いろいろな先生のところに聞きに行ったり、発問したり質問したりということで研究を深めているということをごさいます。

明石委員 わかりました。

2点目です。今、市立高校とか高校の中で、教科書を1年間で

最後まで使い切っているのでしょうか。私の知っているところでは、3月に最後までやらなきゃいけないから、読んでいかざるを得ないようなところもあるということを知っているんですけども、高校では、本当に授業計画どおり行って、十分教科書を使いこなしているのでしょうか。

川崎千葉高等学校長 各教科でシラバスをつくり、学習指導計画をつくり、そして教科部会を開き、進度を合わせて、教科書を中心に授業を展開しているということでございます。

明石委員 シラバスはつくっているんですか。

川崎千葉高等学校長 つくっています。

明石委員 ホームページでオープンしていますか。いつから高校では作っているんですか。

植草稲毛高等学校長 シラバスは大分前からやっています。10年以上前からです。

明石委員 ホームページでオープンにしてくれるとわかりやすいね。それは知らなかった。それはすごい。大学は授業を15回全部やらないとだめなのです。15回やって16回目にテストしなさいということになっている。

中野委員長 よろしいでしょうか。

ほかにございませんか。

和田委員 先ほどの明石委員の質問とちょっと重なるところもあるのですが、理数科と普通科で教科書が違っているものについてです。普通科の物理と化学を見ると、実教出版と第一学習社で、理数科を見ると、数研出版と実教出版になっていますが、理由を教えてください。

川崎千葉高等学校長 科目にもよりますが、初めて使うもの、基礎的なものについては同じ教科書を使っています。

和田委員 同じ教科書というのは、この普通科のものを使っているんですか。

川崎千葉高等学校長 理科でございますね。

和田委員 はい、理科です。物理と化学。

和田委員 発行者は違うということですよね。教科書の発行者は理数科と普通科で、別のものを採択したいということですね。

川崎千葉高等学校長 はい。

和田委員 わかりました。やはり、普通科とあえて変えているのは、理数科に応じた難易度のものということなんでしょうか。数学に関しては同じだと思うんですが、理科の中でも物理と化学に関して変

えているということは、やはりその難易度と理数科に合わせたものという趣旨で選ばれているのでしょうか。

川崎千葉高等学校長 はい。

和田委員 それと、あともう一点なのですが、これも確認のようなことになってしまうのですが、世界史とか日本史とか地理は、AとBで履修範囲が違うということだと思えるんですけども、やはりこれは文科系の科目については、範囲を狭めて学習するために、Aを選択するようになっていくのでしょうか。

川崎千葉高等学校長 本校では、理数科の1年生は世界史Aを学ぶことになっています。やはり理数教育の幅が広いので、どうしてもそのようになっていきます。それから普通科についても、1年生においては世界史Aをとることになっています。

中野委員長 3年生になると、もう一回世界史をやるんですか。

和田委員 選択教科なんですか。

川崎千葉高等学校長 3年生の中では選択でございます。

中野委員長 よろしいのでしょうか。

和田委員 はい、わかりました。

中野委員長 それでは、ほかにはご意見等ないようですので、議案第26号「平成29年度使用千葉市立千葉高等学校用教科書用図書採択について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

中野委員長 ご異議ないようですので、原案どおり可決いたします。

議案第27号 平成29年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について

中野委員長 稲毛高等学校長、説明をお願いいたします。

植草稲毛高等学校長 稲毛高等学校の植草でございます。よろしくをお願いいたします。

本校も市立千葉高校と同様に、平成29年度使用教科書図書選定理由書で説明させていただきます。

まず、稲毛高校の選定の方針でございます。本校生徒の実態及び課題ですが、本校の教育目的・目標であります「豊かな国際感覚を身に付けた真の国際人を育成する」がございますので、当然、教科書選定についても、そこを大きく考えた上で選定していくというのを本校の基本としています。

課題に掲げてありますが、本校では始業前に朝学習を行っております。この中で高校1、2年生については、それぞれ職員があ

る程度課題を出しますけれども、3年生になりますと、進路を踏まえて自学自習をするということを行わせます。ですから、こちらでまず自習ができる教材、教科書も予習復習がきちんとできるシステムになっている教科書というものを選びたいということを考えております。

続いて、本校に求められる教科用図書の特色でございますが、普通科のところに掲げていますが、これは国際教養科とも重なるところです。各教科書ともできる限りデータ、図、写真等がバランスよく掲載されているもの、これをなるべく本校で採用するように考えております。

なぜかという、今の新しい学力の考え方の一つであります知識、技能だけではなく、その知識、技能を使って思考力、判断力、表現力を養うというような形、それとあわせまして、大学入試もそういった問題が非常に増えている、つまりデータや表、写真等を読み解いていく力、こういったものが非常に重要になってきています。したがって、できる限りそういった内容をきちんと網羅されている教科書というものを取り上げたいというふうに思っております。

また、英語については、稲毛高校は非常に先進的な英語に取り組んでおります。特に、ネイティブの教員は5人配置していただいておりますので、そのネイティブをいかに活用できるかという視点で、教科書を選ばせていただいております。

国際教養科はさらに、その稲毛高校の特色を大きく代表するところでございます。ただ、教科書自体は、英語については普通科と同じものを使っております。授業内容については、その教科書を使いまして、ディベートとかプレゼンテーションをかなり多く取り入れるような、まさに使える英語というものを教育できるようなシステムをとっております。ですから、教科書は共通のものでございますけれども、授業内容はかなり違ってくるということです。

次に、教科書選定の基準を4点記載しておりますが、これは今まで説明したものと重複しますので、省略させていただきます。

続きまして、本校の教科用図書の選定計画でございます。

夏休み前までに4回の教科書選定委員会を実施するとともに、職員会議等で職員に教科書選定の公平性をきちんと担保できるように、同時に、説明責任をきちんと果たせるように、教科書を選定するよう話をしています。こちら、ほぼ市立千葉高校と同様

ですので、省略させていただきます。

続きまして、各教科書について説明いたします。まず、国語の国語総合でございます。こちらは必修科目になりますが、今までの東京書籍から筑摩書房に変わっております。内容的には非常にオーソドックスな配列ということで、国語の文章力がきちんと鍛えられるような形になっているということになります。国語総合は必修科目ですので、こちらは基礎から発展まで網羅した、基礎力が定着できるような、教科書を選ばせていただいています。

続きまして、古典Aになります。こちらも教育出版から今年度、第一書籍に変えさせていただきました。この教科書は扱う古文の内容が物語、随筆、日記、和歌等、また漢文についても故事成語から史伝、その他思想のところに至るまで非常に多彩なジャンルですので、本校の場合受験を意識しますと、その辺が総合的に扱われている教科書が適切であると考えます。

補足ですけれども、国語は先ほど市立千葉高校でもありましたように、できる限り多くの文章を生徒に触れさせるということで、積極的に教科書を変えていくことが多い教科でございます。

社会科については、昨年度と同様になります。数学も同様でございます。

続いて理科ですが、化学基礎、こちらが今年度、第一書籍から啓林館に変わっております。先ほど説明した中でもありましたように、図や、実験の中身等、これがわかりやすく説明されている。また、図を見ながらきちんと生徒が勉強していき、なおかつ、そこから発展していくことができるということで、こちらの教科書を選ばせていただきました。

続きまして、英語になります。英語表現にいいずな書店という教科書会社の図書が導入されます。こちらは、導入から定着、発展という、ユニットが非常にきちんとされていると考えます。先ほどありましたように、本校ではとにかくディベートですとかプレゼンといった、表現力を鍛えるのに力を入れておりますので、この教科書はそれに適しております。

先ほども申しあげましたように、英語については本校は、国際教養科と普通科では同じ教科書を使っています。ただ、授業内容はだいぶ違っているということになります。

以上、簡単ですけれども説明を終わらせていただきます。

中野委員長 それでは審議に移りますが、質問等を含めまして何かございま

すでしょうか。

明石委員 2点ありまして、1点目。ご説明では、普通科と国際教養科では英語の教科書は同じものを使っているということですが、科目を見ると英語表現は同じでも、普通科はコミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで、国際教養は総合英語になっているんです。なぜ同じ教科書を使っているのに、科目の名前が違うんでしょうか。

植草稲毛高等学校長 国際教養科は、英語がほかの普通科よりも多く時間設定をしているのと、学校設定科目というのがあります。例えば、地域研究などがあたります。これは地理の教科書を使っていますが、英語を取り入れながら学習を進めることで、国際教養科特有の教科となります。その分、例えば数学などが少し減っているという形になります。ですから、その関係で教科名が違ってきますが、同じ教科書を使うということになります。

明石委員 2つ目は、ネイティブの先生が5人いらっしゃるんですけども、その先生方はこの教科書をどういうふうに使って授業されているのか、もし実態がわかれば教えてもらえますか。

植草稲毛高等学校長 県立高校ですとALT、ネイティブの先生の使い方というのは非常に縛りがあります。例えば、日本人の先生とティーム・ティーチングをやる際に、契約の関係上両者でかけ合いというののできません。ところが本校にいるネイティブの先生は、千葉市の取り組みで臨時の教員免許を、つまり日本の教員免許を取ってもらっていますので、ネイティブの先生が単独で授業を行うことも可能です。

国際教養科に至っては、ネイティブの同士ティーム・ティーチングも可能ですし、オールイングリッシュはもちろんですけれども、ネイティブの先生が2人入って授業をかけ合いで行うなど、より実践的な方法で行っています。

明石委員 そうすると、この日本の教科書を使いながらも、オーラルの英語でかけ合いでやっているんですね。

植草稲毛高等学校長 そうです。

明石委員 言うならば、稲毛高校では3つの英語授業スタイルがあるんですね。普通科の英語授業スタイルと、国際教養科の英語スタイルと、ネイティブが入ったスタイルということですね。

植草稲毛高等学校長 日本人の教員もオールイングリッシュでやっていますが、ネイティブほどの発音ではないとか、当意即妙というのはちょっとできないかもしれませんが、今おっしゃったようにいろいろなパタ

ーンがあるということです。

明石委員 こういうのをホームページでアピールすると、もっといいですね。すごい、知らなかった。ネイティブの先生がかけ合いでやってくれるとは知らなかった。
ありがとうございました。

中野委員長 ほかに何か。

小西委員 1点、市立千葉高校では、選定理由のところに、継続性を重視というようなことが書かれているんですけども、稲毛高校では前年度との継続性というのは、どういうふうになっていますか。

植草稲毛高等学校長 教科の特性で、どうしても継続しなければいけないものがあると思います。例えば音楽ですと、音楽Ⅰ、Ⅱというふうに進みます。その際、音楽Ⅰで変更した教科書会社を系統性を踏まえ音楽Ⅱでも使用しています。このように教科の特性として、継続することが必要なものがあります。

一方で、先ほど言ったように、特に国語などはできる限りいろいろな文章を生徒に触れさせたいということで、教科書を変更するようにしています。

中野委員長 よろしいでしょうか。

内山委員 現実の問題として、受験ということが当人にとっては非常に重要な問題になってきますよね。そうしますと、教科書中心にやっ
ていくのか、あるいはもっと上の学校に行きたい生徒に関しては、副教材を強化するというような、めり張りといいましょうか、その辺はどうでしょうか。

植草稲毛高等学校長 高校の教科書というのは、ある程度レベルに差があります。同じ英語の教科書でも、高レベルと言いますか、受験を中心の高校がよく使う教科書と、英語が中学校時代に得意じゃなかった生徒が使うような教科書というようにレベルに違いがあります。

当然本校、千葉高校もそうだと思いますけれども、受験生が多いので、トップレベルの教科書の中から選ばせていただくことになります。その中でさらに発展的な学習ができる教科書が求められるとともに学校の特色であるディベートやプレゼンテーションといったものが使える教科書などを選んでおります。

中野委員長 よろしいでしょうか。

和田委員 すみません、ちょっと細かいことで恐縮なのですが、先ほど校長先生からもご説明ありましたが、普通科と国際教養科の英語表現で、今回いわずな書店という発行者の教科書を選定されたこと

の理由もお話しいただいたんですが、結構ユニークな教科書なん
でしょうか。何か特色のあるような教科書ですか。

植草稲毛高等学校長 英語の教員が言うところでは、いわゆるスモールトークという
形があって、長い文章をだらだらというのではなく、コンパクト
に生徒たちが発言をするという意味で、短文ですとか、パラグラ
フのようなものをどんどん言えるような設定になっているのと、
しっかりグラマーもやりつつ表現力を鍛えられる教科書だと聞いて
います。もちろん今までの啓林館というのは、やはりトップレ
ベルの学校でよく使う教科書だったのですが、これと比べても非
常に良いもので、そこに選定の理由があります。

和田委員 この教科書を1年間使ってみて、生徒たちがどういった成長を
していくかということで、来年度以降もまた選んでいくというこ
とになりますね。

植草稲毛高等学校長 はい、おっしゃるとおりだと思います。また校内で検証してい
く必要があると思います。

和田委員 わかりました。ありがとうございます。

中野委員長 よろしいでしょうか。

では、ほかにはご質問はないようですので、議案第27号「平
成29年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書採択につい
て」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

中野委員長 ご異議ないようですので、原案どおり可決いたします。

議案第28号 平成29年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について

中野委員長 教育次長、説明をお願いいたします。

森教育次長 議案第28号「平成29年度使用学校教育法附則第9条の規定
による教科用図書の採択」につきまして、千葉市教育委員会組織
規則第8条第10号の規定により、議決を求めるものであります。

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書につきましては、
専門調査員を3名任命し、その調査結果の報告をもとに、7月2
2日に選定委員会を開催し、協議の上、選定結果をまとめたもの
でございます。

その内容につきましては、指導課長より説明を申し上げます。

中野委員長 では、指導課長、お願いいたします。

福本指導課長 それでは、議案28号について、説明いたします。

なお、本日、参考資料としまして、学校教育法及び平成29年

度使用学校教育法附則第9条の規定により作成しました教科用図書の調査研究報告書を添えてございますので、それもあわせてご覧いただければと思います。

今回、採択をお願いします特別支援教育用の図書は、平成29年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書でございます。そして義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律により、平成29年度、児童生徒が使用するものでございます。

それでは、選定結果について、ご報告いたします。

特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の教科用図書については、文部科学省検定済み教科用図書及び文部科学省著作教科用図書の当該学年用を使用することが原則となっておりますが、児童生徒の実態により適切でない場合には、学校教育法附則第9条により一般図書を選定することができます。

まず、視覚障害者用の教科用図書につきましては、千葉市立の特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒の該当者はございません。通常の学級の中に拡大教科用図書を使用している児童は8名おりますが、ここに該当する児童生徒はいません。

千葉市立の特別支援学校及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の多くは、知的障害があります。児童生徒一人一人の発達段階がさまざまであることと、障害の特性も多様であることから、できるだけ児童生徒の実態に対応できるようにするため、文部科学省検定済み教科用図書、文部科学省著作の特別支援学校用教科用図書とあわせて、学校教育法附則第9条の規定による一般図書を採択していただきたいと考えております。

学校教育法附則第9条の規定による一般図書の観点については、「特別支援学級・特別支援学校用の観点」をご覧ください。

まず、内容につきましては、（1）障害の状態や発達の段階及び特性への配慮や工夫、（2）、日常生活との関連、（3）、教材の分量、（4）、学習を促す教材の配慮、この4つの点から、また、組織・配列につきましては、（1）発達に即した系統性、（2）学習活動上の便宜の2つの観点から、表現につきましては（1）発達の段階及び特性への配慮、（2）表記・表現、（3）意匠の3つの観点から、造本につきましては、（1）素材、（2）障害の状態への配慮、（3）扱いやすさ、これら3つの観点から報告書を作成してございます。

続いて、先ほどの議案第28号と同様の資料でございますが、

千葉県教育委員会から示された一般図書の一覧に、千葉市で採択を希望する教科用図書を右端に示したものです。

左側の備考欄の※印は、今年度新たに県から示された図書です。一番右側の丸印、また二重丸の印につきましては、29年度、本市で採択を希望する図書です。丸につきましては、昨年度に引き続き、二重丸につきましては、今年度新たに希望する図書です。

では、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書、合計128冊について報告をさせていただきます。

まず、初めに国語について報告をいたします。県教育委員会から44冊が示されました。そのうち千葉市では34冊を選びました。昨年度からの継続して選んだ図書は33冊になります。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。

新規に選んだ図書は、今回、県教育委員会で選定された図書1冊です。「ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐらの1ねんかん」でございます。1月から12月の各月と行事・季節を対応させた内容であるとともに、生活に身近な場面が取り上げられていて、親しみやすく、生活科の学習にも活用することができます。また、リズムカルな文章で書かれており、読み聞かせにも適しております。

国語につきましては以上でございます。

続いて、算数・数学について報告いたします。県教育委員会からは27冊が示されましたが、そのうち千葉市では17冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は16冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。

新規に選んだ図書は、今回、県教育委員会で選定された図書1冊です。「ひとりだちするための算数・数学」です。実生活に即したテーマごとに配列され、学習しやすいように工夫されています。また、操作活動や体験を通して学べる内容にもなっています。

算数・数学につきましては以上でございます。

続いて、生活・社会についての報告をいたします。県教育委員会から32冊が示されましたが、そのうち25冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は21冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。

新規に選んだ図書は、今回、県教育委員会で選定された図書4冊です。1冊目は「はっけんずかん のりもの改訂版」です。いろいろな乗り物の種類や特徴がわかりやすく説明されています。また、絵の中の扉を開くと、具体的な乗り物の様子がわかるよう

に工夫されています。

2冊目は「あそびのおうさまずかん1 からだ増補改訂」です。イラストや写真が多く、体の部位の名称や、その役目や体の仕組みがわかりやすく説明されています。

3冊目は「5訂版 歌はともだち」です。さまざまなジャンルの曲が147曲取り上げられております。また、簡単な曲から合唱や合奏に対応した楽譜が取り上げられており、児童生徒の実態に応じて活用できるようになっています。

4冊目は「くらしに役立つ理科」です。体の仕組みから始まり、段階的に身近な暮らしや産業について学習できるように工夫されています。また、他教科や生活単元学習、産業現場等における実習でも活用できるようになっています。

生活・社会については以上です。

続いて、職業・家庭について報告します。県教育委員会からは19冊示されましたが、そのうち15冊を選びました。昨年度から継続して選んだ図書は、13冊です。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。

新規に選んだ図書は、今回、県教育委員会で選定された図書2冊となります。1冊目は「はじめてのこうさくあそび」です。身近な素材を利用し、簡単につくることができて遊びに利用できるものが取り上げられています。また、工作の手順がイラストと文でわかりやすく説明されています。

2冊目は「しごとば」になります。日常に接する機会のある9つの職種について、見開きで仕事場、道具、内容を絵と文字で示してあり、仕事がイメージしやすいように工夫されております。

職業・家庭については以上です。

最後は外国語になります。県教育委員会からは6冊示されましたが、そのうち全て選びました。昨年度から継続して選んだ図書は、6冊になります。指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。

新規に選んだ図書は、今年度、県教育委員会で選定された図書がなかったためございません。

外国語につきましては以上でございます。

以上の報告から、本市においては学校教育法附則第9条の規定による教科用図書、合計128冊のうち97冊の採択を希望いたします。

なお、最後になりますが、千葉市立高等特別支援学校及び千葉市立養護学校高等部において、次年度新たに採択を希望する教科用図書はありません。両校の実情に応じて、ここに示した一般図書一覧の中より、必要な図書を選ぶことが可能となっております。説明は以上でございます。

中野委員長 ありがとうございます。

それでは審議に移りますが、質問等を含めまして何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、ご質問もないようですので、議案第28号「平成29年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について」を原案どおり可決したいと考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

中野委員長 ご異議ないようですので、原案どおり可決とします。

以上で本日の議事日程記載の案件に係る審議が終了しました。

7 その他

- (1) 平成28年第8回定例会は、平成28年8月25日(木)午後2時より開催することが決定した。

8 閉会

中野委員長より閉会を宣言